



広告

ハンドルの重みは 命の重み

交通事故・飲酒運転ゼロに

歌手・俳優 **森 公美子**さん

公益財団法人 交通遺児育英会 会長 **石橋 健一**さん

交通死亡事故の抑止と飲酒運転の根絶を目指し、宮城県と宮城県警察、河北新報社は「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」を展開しています。今回は、設立から57年にわたり交通遺児家庭の支援を続ける公益財団法人交通遺児育英会の石橋健一会長と、歌手で俳優の森公美子さんが対談。育英会の活動とその意義、交通事故被害者家族としての経験を語り合いながら、交通死亡事故をなくすために必要なこと、さらに当事者になった際の心の持ちようを探りました。(進行役は河北新報社取締役営業局長 永山ゆみ)



プロフィール 昭和音楽短期大学卒業。イタリアミラノに音楽留学を重ね、82年「修道女アンジェリカ」でオペラデビュー。翌年東宝ミュージカル「ナイン」、85年ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォル〜箱の中の道化たち〜」に出演し注目を集める。以後、定評ある歌唱力と魅力的なキャラクターで、数々のTV番組、ドラマ、CM、舞台に出演。2026年3月ミュージカル「天使にラブ・ソングを〜シスター・アクト〜」にデロリス役として出演。1959年生まれ。宮城県出身。

プロフィール 北海道大学工学部卒業後、日新製鋼(現日本製鉄)入社。異業種エンジニア技術課、本社人事部などを経て、96年交通遺児育英会会出向、事務局長、専務理事、理事長を経て2023年より現職。奨学金制度の拡充や、学生寮「心塾」を通じた交通遺児の修学支援・心のケアに注力するとともに、交通事故・飲酒運転撲滅に向けた啓発活動に積極的に取り組んでいる。1942年生まれ。

大切な存在を奪う交通事故 残された家族の現実

「事故は一瞬で日常を奪い、家族の人生を変えてしまいます。まずは森さんに、2006年に起きたご主人の交通事故の状況からお伺いできますか。」

森 夫が歩いて道路を渡っていたところ、直進してきた大型バイクと衝突しました。びまん性軸索損傷で脳に複数の挫傷があり、毎日水が溜まって脳の形が変わっていく状態でした。左手は握れるのに、右手は握り返してもらえなかったことを覚えていて。バラエティー番組の仕事で笑うことが、あのときほどつらかったことはありません。脳の損傷は元に戻らないという事実がショックでしたし、自費での治療が多く金銭面も大変でした。

石橋 森さんは私たちの想像の及ばないほどの経験をされたと思います。当会は、交通事故で保護者が亡くなった後、重度後遺障害を負われたりした遺児家庭を支援しています。遺児の母親らの「わが子をせめて高校には進学させたい」という願いが社会を動かし、1968年末の国会決議を経て、翌69年5月には当会が設立されました。遺児家庭は経済的にも精神的にも大変困難な状況に置かれ、残された家族の悲しみは消えることがありません。

森 大切な活動をなさっていますね。事故に遭った本人と家族はもうろくにらいますが、私は当時、加害者となった方もとても苦しんでおられることを知り、交通事故は、関わる全ての人の心を傷つけます。ですから、私も運転するときは加害者にも被害者にもなり得るのだという意識を常に持っています。また、夫の事故をきっかけに、社会福祉施設でボランティアを始めました。一緒に歌ったり話したりすることで得られる「みんな助け合って生きていく」という感覚は、私にとって宝物です。

石橋 事故の相手方にも思いを寄せ、ボランティア活動までされていることに頭が下がります。昔は地域全体で子どもの育ちを支えるコミュニティがありましたが、現在は関係性が希薄になり、家庭が孤立しがちです。今の時代こそ、森さんのような支え合いの精神が必要だと思います。

人の意識で事故はなくせる 常に緊張感と想像力を

「昨年、宮城県内の交通事故件数は過去最少となりました。しかし、被害者や悲しむ家族がいる現実が変わりません。ハンドルを握る人へ伝えたいことはありますか。」

森 「常に緊張感を持ちましょう」ということ。車は動く凶器になり得るし、

ちょっとしたミスや注意不足が重大事故を引き起こしかねないということ、私も含めて意識しなければなりません。もう一つは、優しさや心のゆとりです。「急いでいるから行っちゃえ!」という行動が危険につながります。交通ルールを正しく守り、歩行者や自転車に配慮した運転をしたいものです。

石橋 免許取得後に初めて運転したとき、アクセルを踏むだけで1トン、2トンもの鉄の塊が簡単に動くことを「怖い」と感じました。その恐れを忘れてはいけません。それと「人がいるかもしれない」という想像力。同じ路地で100回誰も出でなくても、1001回目に飛び出してくるかもしれない。交差点では、いつも人がいる可能性を頭に入れておく必要があります。

初めて運転したときの怖さを忘れないで(石橋)



一人ぼっちじゃない 「助けて」と声を上げて(森)

「育英会では遺族の声を伝える啓発活動も行っています。」

石橋 ドライバーの安全意識向上を目的に、運送会社やタクシー会社などで無料の出張講演を実施しています。交通遺児やその保護者に被害体験を話してもらいます。生の声を聞くことで事故の恐ろしさが心に響くようです。あるお母さんの「ハンドルの重みは命の重み」という言葉には、私たちが胸を打たれました。

頼れる場所は必ずある 勇気を出し、助けを求めて

「事故による深い悲しみの中でどのように心を保ち、前を向いていけるのか、森さんの

経験をお聞かせください。」

森 私は区役所の窓口で涙を流して相談しました。職員の方の「大丈夫ですよ」という言葉と、具体的なアドバイスにどれほど救われたことか。あるときは、交差点の真ん中で夫が車イスから落ちてしまったんです。「助けてください」と叫ぶと、近くにいた方々がすぐ手を差し伸べてくれました。助けてくれた人は必ずいます。勇気があるけれど、「助けて」と伝えることが第一歩です。私は、専門職の手も借りています。「公美子さんは仕事をしてくださいます。私たちがアロだから任せて」と介護士さんに言われて、心身とも楽になりました。そして私が全てを担うのは、夫にとっても重いことだったと気づかされました。

「育英会でもさまざまな支援をさせていただきますね。」

石橋 経済的な支援はもちろん、同じ境遇の仲間と出会える場の提供が重要だと考えています。学生寮「心塾」では、体験を共有し安心しておしゃべりをする中で、子どもたちの心が楽になるようです。「高校奨学生と保護者のつどい」「語らいカフェ」といった保護者どうしの交流の機会も設けています。胸の内を語り合える場ですから、ここで聞ける困りごとやニーズが、私たちの事業改善や新規事業につながることも少なくありません。

「本当に求められていることは、現場に出てこそ分かるもの。それが支援の拡充にもつながっているんですね。」

石橋 保護者や奨学生からの要望を受け、英語以外の語学や簿記、ITなど、さまざまな資格取得への費用補助制度を拡大しました。また、高校生らを対象に

将来を見据えた経験と挑戦 奨学金が後押しに

奨学金 利用者の声

父が交通事故で亡くなったのは私が高校1年になったばかりの5月でした。私はサッカーの部活動に力を入れており、日々の練習や先輩後輩関係など、ようやく高校生活に慣れてきたばかり。まだ将来のことまでは思いが及ばない時期の出来事でした。

私は母と姉の三人家族になりました。心配もあったと思うのですが、当時は母から進路の話はされませんでした。その後、部活動を続けるのが苦しい時期にも母は「辞めてもいいんだよ」と、ほどよい距離で見守ってくれ、それが支えになりました。

高校生活の後半に入り、先生や母と進路を考える中で、交通遺児育英会の奨学金制度があるのを知りました。学費はもちろん、条件を満たせば家賃や自動車運転免許取得費の補助も受けられます。推

薦入学の複数の選択肢から、幅広く将来を考えることができそうだと考え、東北学院大学経営学部に入學しました。当初は公務員を目指そうかという気持ちがありましたが、今は営業の仕事にも興味があります。大学の講義とも関係する簿記の資格取得にも挑戦しようと思っています。進路や学業以外では、所属するサークルで全国大会に出場したり、アルバイト先で外国のお客さまとのやり取りに語学の大切さを痛感したり、さまざまな経験を積むことができています。

家族が交通事故に遭うことは特別なことではなく、だれにでも起こり得ます。日常の家族との会話を大切に、日々を丁寧に過ごしてほしいです。

交通遺児育英会について、ぜひ多くの方々に知ってほしいと思っています。

東北学院大学経営学部3年

補助対象を拡大、在学中の資格取得を支援

2024年から英検費用を補助、25年からは英語以外の7言語を追加。さらに、簿記、医療系、IT系、宅建などの資格試験の受験費補助も開始。

分類	検定名称	分類	試験名称
語学	実用英語技能検定(英検)、TOEIC、TOEFL、実用フランス語技能検定試験(仏検)、ドイツ語技能検定試験(独検)、スペイン語技能検定、中国語検定試験(中検)、韓国語能力試験(TOPIK)、ロシア語能力検定試験、実用イタリア語検定試験、日本語検定 ほか	IT・画像映像	マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート、アニメーション実技試験
	電気機械 建築土木		第二種電気工事士、自動車整備技能登録試験、宅地建物取引士(宅建)、賃貸不動産経営管理士試験、2級建築施工管理技術検定、2級土木施工管理技術検定 ほか
会計	日商簿記検定試験、公認会計士、税理士	食品調理 栄養	調理師試験、管理栄養士、フードスペシャリスト
法律	司法試験予備試験、司法試験、行政書士	旅行観光 文化	国内旅程管理主任者資格、総合旅程管理主任者資格、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、観光英語検定、世界遺産検定、歴史能力検定 ほか
医療 獣医療	看護師国家試験、保健師国家試験、薬剤師国家試験、医師国家試験、理学療法士、登録販売者(医薬品)ほか	その他	危険物取扱者試験、ファイナンシャルプランナー技能試験、秘書検定、理容師国家試験、美容師国家試験 ほか
精神心理	子供心理カウンセラー、スピリチュアルケア師、公認心理士		

受験回数や費用に上限を設けず全額給付

今日5月22日は宮城県「飲酒運転根絶の日」です。

交通事故ゼロ、飲酒運転ゼロを目指して、無料出張講演を行っています。

交通遺児や保護者の方の体験を視聴いただくことは、交通安全の大切さを実感する絶好の機会となります。ぜひ、お問合せください。

交通遺児育英会は、50年以上にわたり、保護者が交通事故で亡くなったり、重度の後遺障がいのため、経済的に修学が困難になった子どもたちに、高校や大学・専門学校などへの進学を支援し続けています。修学を終えると、社会に役立つ人材として羽ばたいていきます。私たちの活動は大きく5つの事業で成り立っています。

- ① 奨学金の無利子貸与(一部給付)
- ② 奨学生の指導および育成と交流
- ③ 学生寮「心塾®(こころじゅく)」の運営
- ④ 修学支援金の給付
- ⑤ 交通安全推進運動への協賛・協力、無料出張講演等



私は、進学の夢をあきらめない。

公益財団法人 交通遺児育英会

募金課 ☎ 0120-521285 (平日9:00~17:30)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階

交通遺児育英会 検索

bokinka@kotsuiji.com

